

様式 4

<p style="text-align: center;">令和 3 年度第 1 回 富士見市生涯学習推進市民懇談会 議事録</p>						
日 時	令和 3 年 1 1 月 1 1 日 (木)		開会	午後 3 時 0 0 分		
			閉会	午後 5 時 0 0 分		
場 所	富士見市立中央図書館 2 階 視聴覚ホール					
出 席 者	参加者	猪俣座長	渡邊	新井	星野	遠藤
		○	○	○	○	○
		大沼	出井	山崎	吉田	小谷
		○	欠	○	○	○
		貝塚	戸塚			
		○	○			
	事務局	生涯学習課 深迫課長、玉田主任、石井主任				
公 開 ・ 非 公 開	公開 (傍聴者 1 名)					
議 題	<p>1 開 会</p> <p>2 市民懇談会参加者自己紹介</p> <p>3 座長の選出</p> <p>4 座長のあいさつ</p> <p>5 内 容 (1) 市民懇談会と市の生涯学習について (2) 第3次富士見市生涯学習推進基本計画及び概要版、計画の推進体制について</p> <p>6 その他 ・次回開催について ・振込先口座、マイナンバーの確認について</p> <p>7 閉 会</p>					

議 事 内 容

生涯学 習課長	<p>1 開 会 開会あいさつ</p> <p>2 市民懇談会参加者自己紹介 資料1 参加者、事務局の自己紹介</p> <p>3 座長の選出 自薦・他薦がなかったため、事務局より猪俣氏を座長として提案。参加者より了承を得たため、富士見市生涯学習推進市民懇談会開催要領第4条の定めにより、猪俣氏が座長として選任された。</p>
座長	<p>4 座長のあいさつ あいさつ</p>
事務局	<p>5 内 容 (1) 市民懇談会と市の生涯学習について 資料2、資料3 資料を基に事務局より説明</p>
参加者	<p><質疑・意見> 生涯学習推進市民懇談会開催要領には年間の開催数が明記されていないが、何回開催するのか。</p>
事務局	<p>年に2回の開催を予定しているが、計画策定期等でもう少し回数を増やすべきと判断されるときはその限りではないと考えている。</p>
座長	<p>開催要領に概ねの開催回数を記載しても良いのではないかと事務局で検討してほしい。</p>
事務局	<p>開催要領に事細かに全てを記載することは困難である。開催回数については、推薦いただく団体様あて、公募委員募集の際の広報等でお知らせしている状況。今後については検討させていただく。</p>
参加者	<p>生涯学習と社会教育について説明があったが、整理がまだついていない状況。生涯学習課で子ども大学を開催していると思うが、社会教育として行っている事業はあるか。</p>
事務局	<p>説明資料のイメージ図を参考に、社会教育を学校以外で「教える者」と「学ぶ者」による行為と捉えると、家庭学習応援事業は社会教育として行っているもの。参加者を募り、公民館にて家庭学習の習慣化、基礎学力の定着を目標に学習について指導している。</p>
参加者	<p>南畑公民館では、先日、難波田氏の歴史についての講座を開催した。</p>
座長	<p>参加者の中にも社会教育を提供する側の方もいるのでは。</p>

参加者	訪問型の音楽レッスンを提供している。また、先日子ども芸術大学の講座に講師派遣を行った。
参加者	生涯学習と社会教育はきっちりと区別するのが難しいものだと思う。視点を変えて捉えると、両方の側面を持ったものでもある。事業を行った際に一方の部分が不足していたとなると、もったいないので気を付けたい。
参加者	富士見市資料館友の会ふるさと探訪部会というものがある。富士見市内および、その周辺地域の身近な文化財を訪ねて歩く。 水子貝塚資料館にて土器や勾玉づくりを開催している。
参加者	コミュニティ大学では市民人材バンク等から講師を派遣していただいて講義を行っている。そういう意味では社会教育ではないだろうか。
座長	社会の一員として必要なことについて学ぶ。学校教育、家庭教育、自らが所属している団体等でその時々にあった方法、例えば講師派遣、自らの勉強会。そういったものも含めて社会教育と考える。 縦割りで考えるのではなく、相互に関連させることが大事ではないかと考える。
参加者	基本計画の冊子の資料編に市民アンケートの結果があるが、今回の計画にどのように反映しているのか。
座長	この質問に関しては次の内容に関係する部分と思われるので、事務局からの説明を受けたのちにといいことでよいか。
参加者	問題ない。
事務局	(2) 第3次富士見市生涯学習推進基本計画及び概要版、計画の推進体制について 資料4 、 資料5 、 資料6 資料を基に事務局より説明 先程、質問のあった、市民アンケートはどのように反映しているかについては、庁内の職員で構成される生涯学習推進委員会や事務局の地域文化振興課及び生涯学習課にてアンケート結果の分析を行った。
座長	<質疑・意見> 令和2年度第1回の会議にて、事務局より、指標部分に基準値、目標値を定めているがそこに市民意識調査やアンケートの回答を反映していると説明を受けた。 2次計画には基準値、目標値は無かった。3次計画ではそれらを明確にして各部署、市民懇談会にて PDCA サイクルを回していく。ここが以前の計画と今回の計画との異なるところ。
参加者	年度単位で進捗管理を行うと思うが、どのように進めていくのか。行政だけではなく、市民と一緒に推進していくための方法や活動団体や市民に対する周知方法が明確でない。市としては様々な方法で周知していると思うが伝わりづらいつ感じている。

事務局	<p>2次計画までは明確な数値目標を設定しておらず、進捗管理が難しかった。3次計画では数値目標を設定し、進捗管理を行うこととした。周知については不得手と認識している。まずはホームページに掲載することが第一歩だと考えている。ただし、一般の方が計画を目にする機会は少ないと想定している。周知については課題であるので、ご意見をいただきたい。</p> <p>基本目標①「(イ) 学習環境の整備」において、生涯学習に関する情報が手に入りやすいと回答した人の割合を36%から40%にすることを目標とした。現状、広報とホームページでの周知しか出来ていない。時代の流れを鑑み、SNSを活用した周知を行っていききたい。</p>
参加者	<p>高齢者のサークルは様々あるが参加者の減少が続いている。無くなってしまうのは残念。またSDGsについても環境の話になりがちだが、貧困対策の他、色々なテーマがあるので満遍なく生涯学習に取り入れてみてはどうか。</p>
事務局	<p>アクションプランについては毎年変更を行うことも可能。各分野について担当課と生涯学習課とで協力し合い、担当課任せにならない様にサポートをしながら生涯学習として捉えていければと考えている。</p>
参加者	<p>2児の母親として保育園以外にも学習の場を提供してあげたいと思っている。しかし、公民館等で、小さい子どもを対象とした講座等は少ない。また、共働き家庭の都合の良い時間に開催しているものも少ない。</p> <p>水谷地域は人口が増えている。水谷小学校の児童も増えている状況。しかし、学校外の教育の場が少ない。また、情報収集も困難であった。</p> <p>数値目標を掲げたのは良いこと。先程、周知の話もあったが弱さを感じる。教育の機会も少ないと感じた。</p> <p>お集りの参加者の方は各団体で活躍している方々だと思うので、市民懇談会を発信の場や、生涯学習を推進する場としたい。</p>
参加者	<p>広報紙を読んでいるが、講座は平日の昼間開催が多く参加するのが難しい。共働きや高齢になっても仕事をしている時代。その方々が参加可能な開催スケジュールではないように思う。</p> <p>人材バンクの登録者には様々なことを教えてもらった。長年続けている中で登録者が年齢を重ねている。後継者となる世代が忙しいので苦労されていると感じる。</p> <p>広報紙が届いても読まない家庭もあると思う。三芳町が数年前に表彰されたと記憶している。三芳町を参考に読んでもらえるような広報紙としてほしい。開催している事業については良いものだと思うが、周知・アピール方法はまだまだ工夫が必要だと感じる。</p>
参加者	<p>周知に関しては市民目線に立った情報発信を心がけて欲しい。現状では周知が十分とは思えない。コミュニティも様々あるので、届けたいコミュニティに届くような情報発信をするべき。</p>

参加者	<p>皆さんの話を聞き、今の時代は SNS を上手に活用することが重要と考える。国でもデジタル庁が発足した。是非、富士見市でも力を入れて欲しい。</p>
参加者	<p>年代別メールサービスの提供を検討してみてもは。広報に QR コードを添付し登録する方法を取れば、それ程手間にならないと考える。</p>
座長	<p>工夫を重ね、市民に情報を届けることが大事であると参加者の方々は考えていることが分かる。</p> <p>今回の3次計画で SDGs についてはあまり触れていない。大切なことだと思うが、知識がないと接することも難しい。計画は完成している為、これから盛り込むのは難しいと思う。アクションプランとして組み込めないか。また、市民が希望する事業も掲載しても良いのではないか。</p>
参加者	<p>情報発信について、「生涯学習」を行政に「お願いします・やってください」となりがちだが、「学びたい・つながりたい・伝えたい・広めたい」と思っている市民同士をつなげる場づくりをしてほしい。事業に参加している市民も発信の一員として活躍することが出来るのではないか。生涯学習を行政だけが推進するのではなく、行政と市民が力を合わせ推進していく形を目指したい。住民同士の口コミも発信方法の1つだと思う。</p>
座長	<p>庁内の生涯学習推進委員会がある。アクションプランの検討や、懇談会で出た意見を検討する核となる委員会だと考えるが、どのような委員会なのか。</p>
事務局	<p>推進委員会では、アクションプランの進捗管理や計画全体の目標達成度の検証を行う。</p>
座長	<p>推進委員会の委員の方には生涯学習を推進するにあたり、課を越えた協力体制で力を合わせて進めていってほしい。またその役割を担っていると考える。</p>
事務局	<p>今後の流れとしては、推進委員会で、アクションプランの意見をまとめ、市民懇談会にて報告を行う形を想定している。本日のご意見も推進委員会に共有し課題とすることも検討している。</p>
参加者	<p>5年後の達成目標を設定しているが、1年毎の目標値はないのか。5年後の最終的な目標と共に1年毎の目標値があっても良いと感じた。中間段階の目標達成度合いも大切と感じる。</p>

事務局	<p>アクションプランについては年度毎の評価を行う。アクションプランの進捗管理を行い、目標達成を目指す。第6次基本構想、第1次基本計画の部門計画でありボトムアップの考え方で目標に向けて推進していく。1年毎の目標設定については検討させていただく。</p>
座長	<p>以上で質疑・意見については終了とする。</p>
事務局	<p>6 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回開催について 次回はアクションプランの評価が終了した後に開催を予定。とりまとめの時間も要するため、夏頃の開催を予定している。 ・ 振込先口座、マイナンバーの確認について 事務局より説明
生涯学習課長	<p>7 閉会 閉会あいさつ</p>